

取扱い方法 MBUC2S(B)

■**使用上のご注意** (この混合器に接続する機器側の取扱説明書やカタログの電圧・消費電流を確認してください。)

- 入力端子と混合出力端子間が通電仕様となっています。
通電容量は全端子合計でDC15V・0.8A以下です。

UHF・FM(CA TV)入力端子側にUHFブースターを使用しない場合は、通電切換スイッチを必ず「切」(非通電)にしてください。

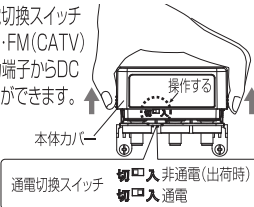
「入」(通電)で使用するすると回路がショートして映像が映らなくなり、テレビ等接続している機器の故障の原因となります。

- CS/BS-IF入力端子と混合出力端子間は、通電切換スイッチの操作に関係なく常時通電されます。

〈UHF前置ブースターを使用する場合〉

本体カバー内側の通電切換スイッチを操作することでUHF・FM(CATV)入力端子側に混合出力端子からDC 15Vを通電させることができます。

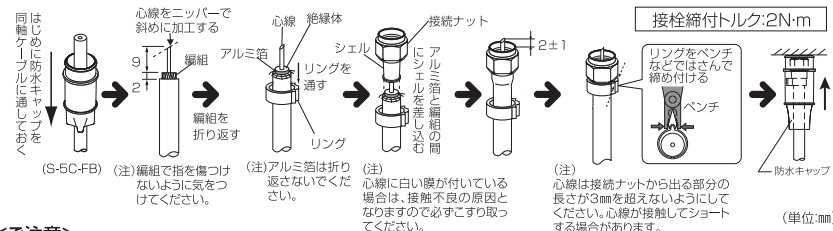
※操作後は、必ず
本体カバーをし
っかり下まで閉
めてください。



■**取扱いの前に** 結線や取付作業はこの取扱い方法をよくお読みのうえ行なってください。

- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行ってください。
- UHF-FM(CATV)入力端子とCS/BS-IF入力端子、混合出力端子を間違えないように接続してください。間違えると映像が映りません。
- 7C以上のケーブルの場合は、コンタクトピン付接栓を使用してください。
- 入力端子から出力端子方向への通電およびAC(交流)電源の使用はできません。

■F-5接栓(付属品)への同軸ケーブル接続方法(S-5C-FBケーブル相当)

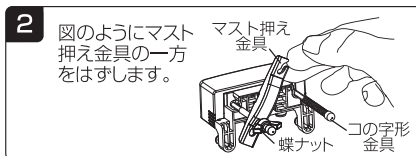
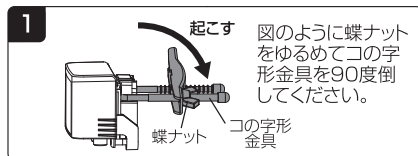


＜ご注意＞

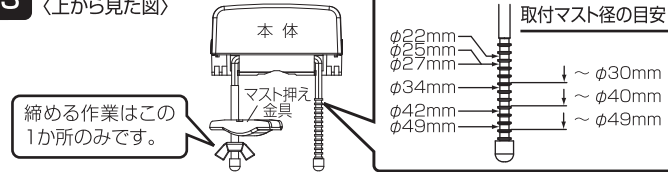
- 4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-6Bの同軸ケーブルをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線・編組に傷をつけないでください。心線断の原因になります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えないだけでなく、電源ポートジョイントで火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。
- (2N・m以上では、締め付けられません。)

■**取付方法** マストや板壁への取付が可能です。

〈マスト取付の場合〉 $\phi 22 \sim 49 \text{mm}$ までのマスト径に対応

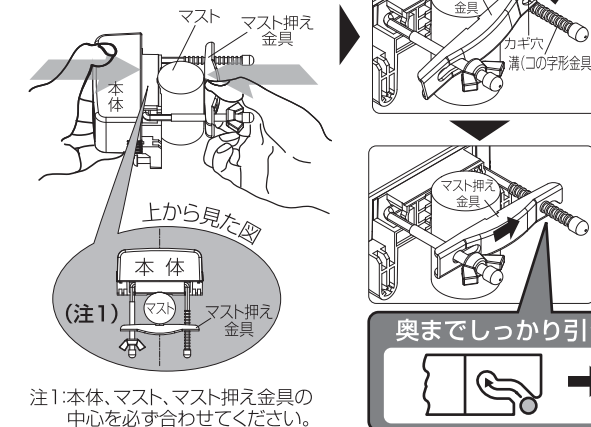


3 〈上から見た図〉



あらかじめ、設置するマスト径に合わせて、13段階の溝からマスト押え金具をはめる位置を選んでください。

4 矢印の向きにマストを挟むように本体とマスト押え金具ではさみます。



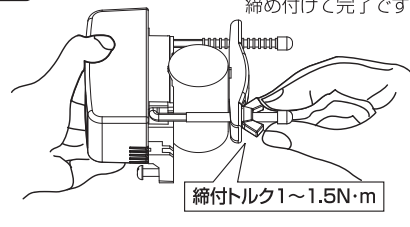
このとき、本体とマスト
押え金具が、ほぼ平行に
なるように上記③で決
めた溝に、カギ穴を引っ
掛けてください。

マスト押え金具を右方向にスライドさせて、カギ穴と溝の間に隙間が開かないようにしっかり引掛けてください。隙間ができると脱落や事故の原因になります。

奥までしっかり引っ掛けてください

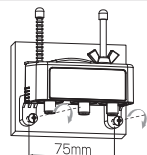


5 蝶ナットをしっかり
締め付けて完了です。



〈板壁取付の場合〉

本体に付いている取付用
ネジ(4.1×16mm)を
⊕ドライバーを使用して板
壁等に取り付けてください。



〈平面アンテナに取り付ける場合〉

当社(別売)の平面アンテナ(背面にブースター取付構造がある機種)に固定することができるので、すっきりとした配線や設置が可能です。詳しくは、平面アンテナの取扱説明書のブースターをアンテナ本体に固定する方法を参考にしてください。